

戦闘技法 しての中国武術を探る

蘇 々

東き成だ

で開かれた国術大会に参加。以後の主な成績は以下の通 する各種の拳法を学ぶ。十六歳のときには早くも台北市 で張峻峰伝の八卦掌、形意拳などの他、少林拳を始めと 一九五三年台湾生まれ。十四歳のときより洪懿祥門下

さながら異種格闘技戦の様相を呈する。 ング、テッコンドー、日本の空手などが参加し、試合は 技等のあらゆる攻撃を認める激しいものである。 金的カップを使用した上で、顔面突き、蹴り、投げ、逆 一九六九年(十六歳)台北市国術擂台 2位 |九七三年(二十歳)蔣介石杯国術擂台 優勝 一九七一年(十八歳)全国国術擂台 2位 一九七〇年(十七歳)台北市国術擂台 優勝 中国武術に限らず、キックボクシング、柔道、ボクシ ちなみに台湾における擂台のルールは、ヘッドギアと

沖縄、日本、アメリカなどに武者修行を重ね、現在に至る。 氏は、関係者から、擂台の天才児、と呼ばれた。以後、 二十歳未満にして、そのような大小の擂台を経験した

断言する。普段の鍛錬が戦闘能力に結びつくか否かが重 実戦において効力を発揮しうる戦闘技術である。』と私は 武術とは何か?と問われれば。攻撃と防御を兼ね備え、

の練習なのである。 して実用にたえうるものにするか、その過程こそが武術 武術とは言えない。伝えられた套路を、技法を、いかに 従ってただ満然と套路の練習のみに励んでも、それは

その戦い方を型の中から学ばねば、技法を本質的に学ん ものである。従って、いくら動作を繰り返したところで、 われた、戦い方の理想形を、動作という枠の中に込めた とが第一歩である。技法とは、先人の実戦経験から培か それには、伝えられた套路や技法の意味を理解するこ

だとは言えない。

(表裏と虚実)を演繹的に広げていくことができるのであ 戦い方を把握できれば、ひとつの技法の変化や、陰陽

法においては、動作は定型であり固定的であるが、散打 法の意味を知り、技法をまた散打に還元させていかねば ならない。 な技法と散打の練習は、常に循環させ、散打によって技 においては動作は自然体であり、流動的である。伝統的 に、絶対に不可欠なものが散打の練習である。套路や技 のものではなく、戦い方の法則であり、上達の法則である。 このような技法の研究をあらゆる角度から行うと同時 そして、いわゆる秘伝と呼ばれるものは、多くが技そ

の理論を異にする。 拳に属するものであり、少林拳や南派の拳術とは戦い方 さて、私が修行する八卦掌や形意拳は、いわゆる内家

るが、八卦掌や形意拳では「王道的」の戦闘法であると 例えれば少林拳や南派拳術は「覇道的」の戦闘法をと

相手に合わせ、相手が攻撃してきたら、こちらも応戦す るので防御型ともいえる。ただし防御の中にも消極的な 方的な攻撃をしかけるので攻撃的とも言える。後者は 前者は覇道的に遠距離から、相手の動きに関わりなく

の技術の研究をしていっていただきたいと思う。 ら紹介する全ての技は、この王道的(積極的防御型)の たときにはすでにこちらの術中におちいらせる。これか ある。すなわち、相手が攻めてきたら受けるのではなく、 防御と積極的な防御があり、真の王道は積極的防御型に 戦法が基本となっているので、これをよく理解し、 相手に打たさないのである。もしくは、相手が打ってき 士道 的 一

人(筆者中央)は団体優勝をとげ、 "五虎将"と呼ばれた。 前例の5人 常勝したため



全国区国術比賽における筆者 意拳の三体式の構えをとり、 迎えうつ。



筆者が海内外介寿杯で優別 左の選手は海軍ボ

をできる利点がある。 ち早くしゃ断(攔截) 手をやや前方に構え、 3、4)がある。側身式は守中式より 線を守る技法) (写真1、2)と側身式 の三体式には三尖相対の守中式(中心 る構えは、形意拳の三体式である。こ (体をゆるめ少し斜めに構える)(写真 姿勢の注意点は両者とも共通してい 実戦時において、私が最も良く用い 相手の攻撃をい し、素速い攻撃

る。その要点を以下に整理する。

虚領頂勁

骨節(腰、 背、 頸椎)を順直に伸し、

立身中正

沉肩墜肘

場腰

椎を圧迫しない)「虚」に心掛けること。 建アゴをつき出さないようにする 気の流通と動きをスムーズにする (頸

体の軸を垂直にする

に富む。 的である。立身中正の実践者は実戦性 心地点に位置することはもつとも合理 前後、 左右、 上下の動きにおいて中

けること。 あるので、ごまかしのないように心掛 運前かがみと左右の偏りは一目了然で

沉肩墜肘

肩をゆるめ肘をおとす

手への順序に沿って意(気)

進棍棒 すだけに終始のではなく、 のように体を流動的に動かす(流動力 無駄のない動きである。 ことに心掛ける。

可能にする。 ックス)の体勢は敏速、 重心の下流を促す。 涵胸抜背、

(選坐禅や站椿のような自然な姿勢であ)

見地より腰の裏は腹(丹田)の考え) り故意に構え固持するものではない。 きを主睾し気の源である。(陰陽表裹の 腰を縮め(塌)勁を蓄める。 閻尾中正、 肛門を提する 腰は動

を配る。三節の意味であり、 (死物)のように手足を振り廻 むちや液体 自然かつ

胸をゆるめる 自然放鬆(リラ 自在の動きを

建立膝と裹膝は陰陽の関係にある配合 の配合で中正を保つ。前かがみや突っ 込み型の形意拳は特に注意すること。 に心掛けること。撑腿と蹬歩(後足) 沉め、体の柔軟霊活な動きを促す。 贈(股)から膝そして足へも重心を 裹 膝を絞る 塌腰は根本である。 常に多いズンドウや凸腰は通病である。 () 場腰(間尾中正)を誤訳する人は非

(表勁と言う) 戻る反発力を活用する。 タオルを絞るように膝(体)を絞り

奇正 (正、反) 立膝撑腿 住「裹」(絞る) 勁は硬く縮込みやすい 膝を曲げ意を足へ沉める に心掛けること。



扣胸

裹膝

技法の一

1 ボクシングの選手は対戦する際、とする。これを、構えさせないことがとする。これを、構えさせないことが勝ちを得る第一である。内家拳の拳理勝ちを得る第一である。内家拳の拳理勝ちを得る第一である。のな撃を持った瞬間、こちらは敵の攻撃を持った瞬間、こちらは敵の数が害意を持った瞬間、こちらは敵の、

封じる。 飛び込み両手で相手の両手首を上から 具体的には写真のように一瞬にして

①の拡大

100

2 相手はガードをく引き壊す。 瞬間をのがさず両手を内に捲き込むよいと

ボクシングとは

虚実測り知れぬ変化を含んでいる。点撃法 の動態は長短、緩急に巧み、方向は上下、 2拳の攻撃に基づく「点撃法」である。拳 軟な動きは攻防の合理性を十分に発揮する。 身法(体さばき)は伸縮性に富み、前後、 捷に移動し攻防の能力が著しく増加する。 機動性に富み、前後、左右へと迅速かつ敏 と身法の実戦性、歩法(フットワーク)は 現実にする。その特色は「洗練された歩法 徹することにより緻密精巧なる「拳技」を 攻撃力にある。技法を拳に限定し、攻撃に 実戦性は諸「拳」術の最たるものである。 左右の活動性に富む、攻撃は左右連環し、 左右、上下と立体的に遊動し、弾性かつ柔 (パンチ) における訓練の熟練度や技法の ボクシングの得手は周知の通りパンチの





や回数の組み合わせは自由である。 環して、ねじりと捲きを繰り返す。方向 して、外から内へ両掌をねじる。左右連 龍蛇形の動作の応用である。〈写真❶❷❸ この技法は、形意拳、兵氏散手の中の 掌を上に向け、指先が外を向くように









いてカウンター的に打つ。 相手が耐えているところ、歩を くる相手に、肩もしくは肘を用 上体をガラアキで手前へ倒れて

3

になった相手の後頭部に右拳をふりあ てる。 瞬時にして入れ変え、ガラアキ

ることが多かった。二十歳(一九七二年)

より対等な戦いはできず一方的な試合にな ことがある。規則に由来する技法の相違に

台湾や日本でボクサーと手合わせをした

の国術大会で海軍のボクシングチャンピオ

擂台賽には過去数度参加し優勝したことも 例にとろう。 氏の動向を見た。洪氏はボクシングスタイ 慎重を期して初ラウンドは遠距離を保ち洪 ある。その洪氏と私は決勝戦で対戦した。 ン(オリンピック候補)洪維庭氏との対戦を 洪氏はハードパンチャータイプであり、

らあきである。私は後退しながら洪氏を誘 なるべく手技で闘うように言われたのでニ 息の一分間大師兄からは、蹴り技を使わず を押え水月に崩拳を入れると洪氏はウーと ることになった。 勢に陥り成す術がなく私の連続攻撃を受け れ絡まれた洪氏はボクシングのブレーク体 面に入り込み攻撃を加えた。私に手を摑ま がら中心線を制し攻撃を封じる。そして側 イルに構える手を捲きや掛けなどで崩しな 洪氏との間合いが狭まるとボクシングスタ ラウンドは手技が中心の接近戦を行った。 たので初ラウンドは私の攻勢で終った。休 度繰り返すと洪氏は前進をやめ守勢を取っ 鳴り体を縮めた。このような攻撃を二、三 を腹部に入れた。さらに掌手で洪氏の顔面 い前進して来る洪氏の前手をはたき前蹴り するが、下段は蹴りに対する守りはなくが ルに構えてジワジワと間合いをつめようと

出を許すことにある。ボクサーは手を曲げ しては相手の両拳をやすやすと目前まで進 ボクシングによく打たれる原因の一つと

小クシング

技法の一

歩を進め、 受けを誘う。 右側頭部を攻め、相手の右手の のようにはたく攻撃)で相手の 右甩掌(手甲でムチ

3 相手の右手が硬直した瞬間、 手を返して相手の右手首をつか相手の右手が硬直した瞬間、右

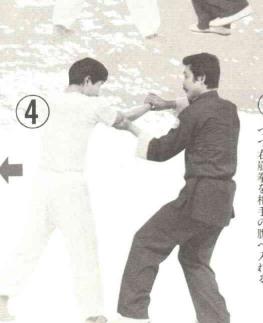
つ左足を進める。 托し(肘を上に押し上げる)つむ。同時に左掌で相手の右肘を

4

5 左手は相手の右肘を引きくずし つつ右崩拳を相手の腹へ入れる。

1

相手の左ジャブを左穿掌で攔截 (さえぎり受ける) する。



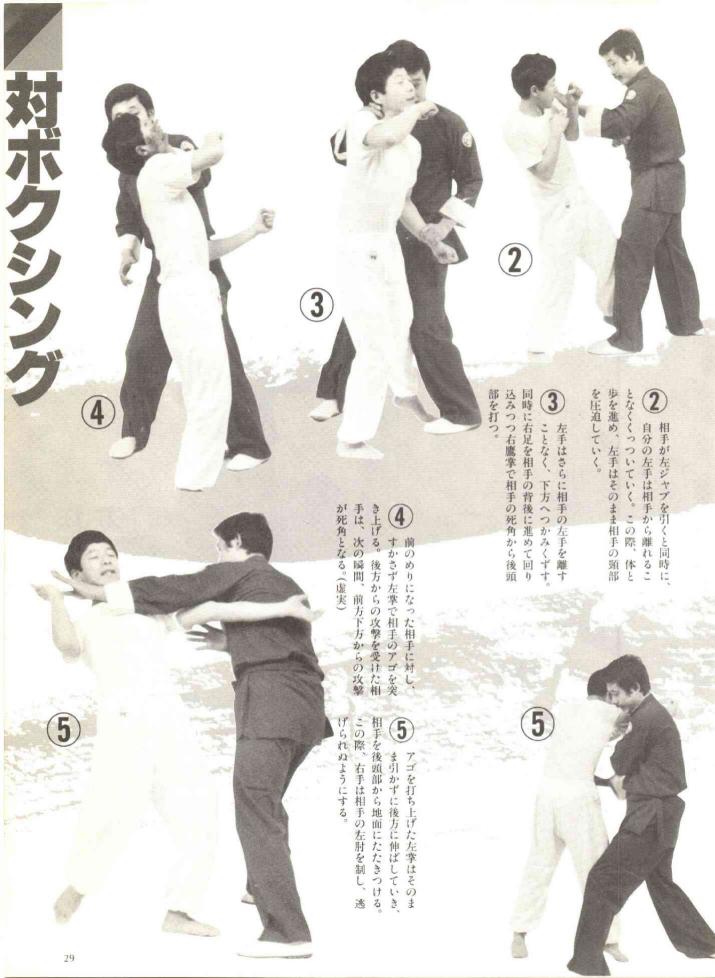
3

私は動いているボクサーのパンチをとらえ 流したりするのかと聞かれることがある。

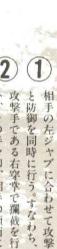
させ一瞬停止のスキをつくのである。 など)を攔截やシュワイ掌(手甲)で交叉 体を縮めるのはパンチを素速く出すための

相手の手にまとわりつき攔截、攪乱するこ 動作であり、沾、粘、連、随などの手法で

が速いのにどうやって相手の手を摑んだり とが得策である。よくボクシングのパンチ





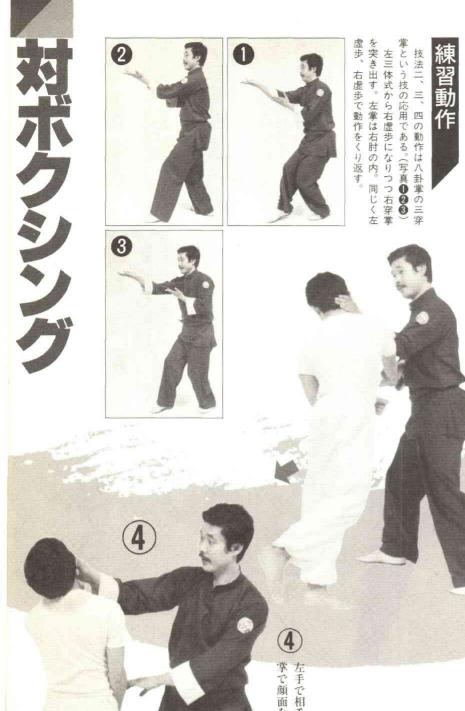


同時に相手の突きを下方におさえる。向けるのである。このとき、左手では

(4) 3

3 右手は掌側で相手の顔をたたくは相手の左拳を上方に流していくようにし、バランスをくずす。このとき、体を相手の背後に進めていくこと。

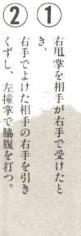
技法の四の変化



つつ、左虎掌で相手の右頸部を打つ。

3

右足を半歩右にずらし、さらに





掌で顔面を強打する。右左手で相手の右腕をはたき、右

たときの模様をもとに対跆拳道の技法を紹介していこう。私自身が台湾の擂台賽で海軍陸戦隊の跆拳道教官と戦っ

技法の一

1 たいとんどの跆拳道の選手は左構と続って構える。ガードは一般に低い。我は右構え、三体式を小さ

2 蹴りを放ってくることが多い。 就は右手で攔截すると同時に右足を右 我は右手で攔截すると同時に右足を右 で踏み出し、相手の攻撃軌道より

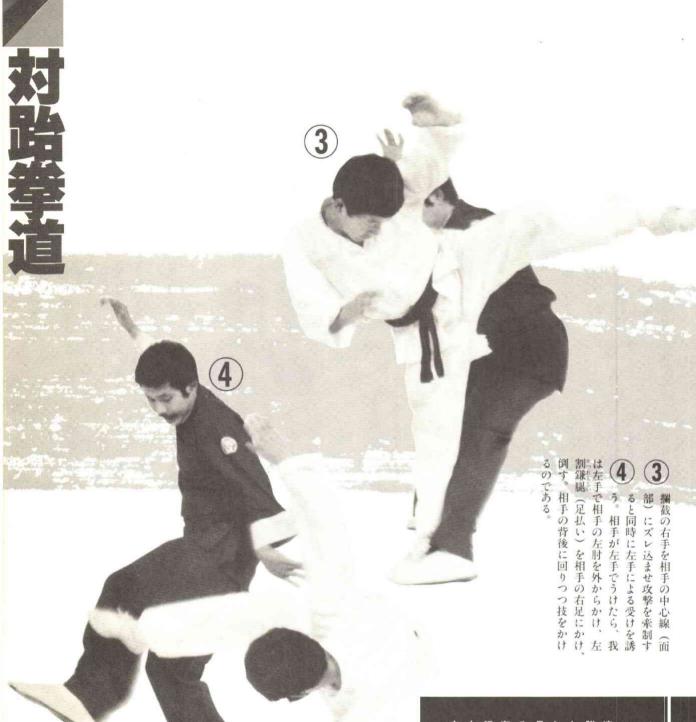




跆拳道とは

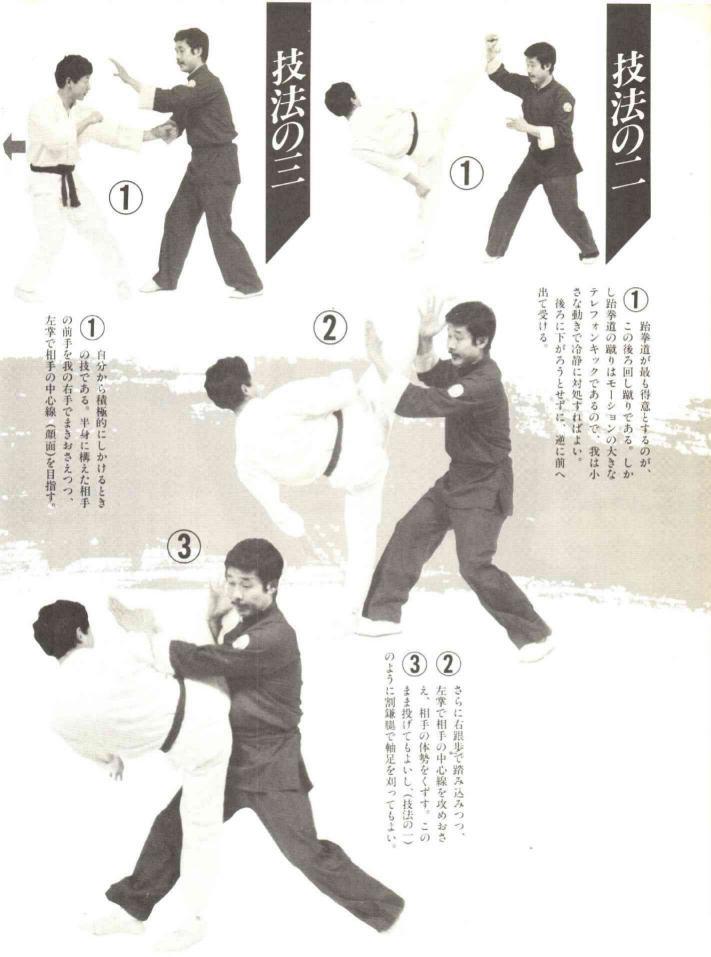
韓国の国技跆拳道(テッコン道)の普及には目醒ましいものがある。兵士の両手はには目醒ましいものがある。兵士の両手は一つとして取り入れられ、アメリカの軍事体つとして取り入れられ、アメリカの軍事体で定着し、世界各地に広き発展を続けている。台湾の軍隊も跆拳道が入り込んでいる。台湾の軍隊も跆拳道が入り込んでいる。お湾の軍隊も跆拳道が入り込んでいる。ため台湾各地には跆拳道の道場も多い。 ため台湾各地には跆拳道の道場も多い。ため台湾各地には跆拳道の道場も多い。

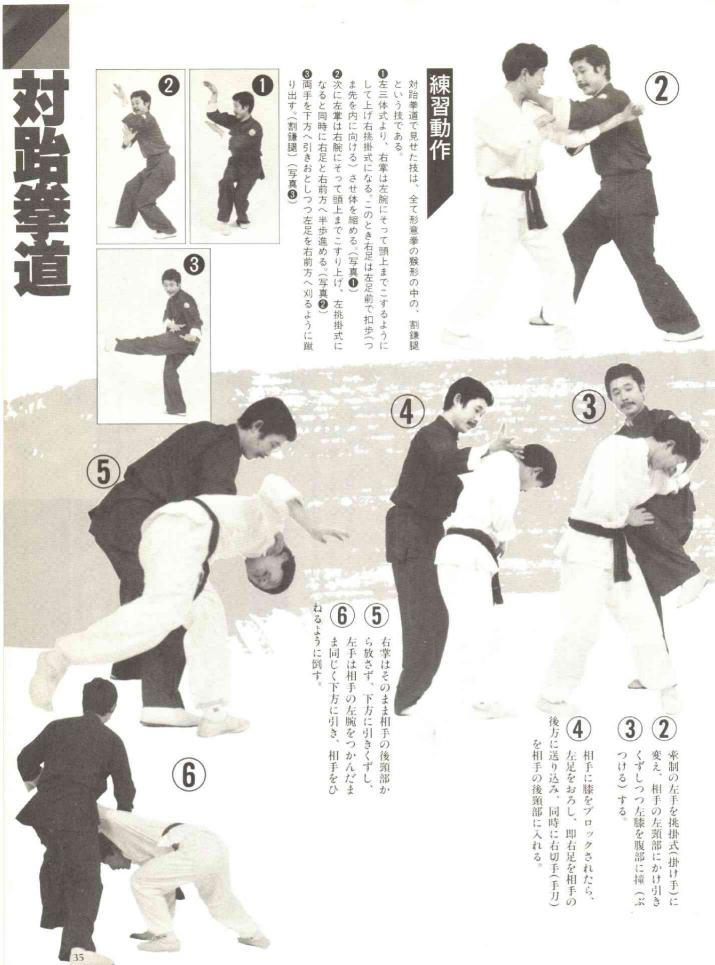
近戦の対処ができず敗れ去った。 ため台湾各地には跆拳道の道場も多い。 おる。試合規則などの影響もあって、蹴り ある。試合規則などの影響もあって、蹴り なれば猛(パワー)速(スピード)は避け られない。一九七〇年前後、台湾の擂台賽 にも多くの跆拳道の選手が参加した。背部 にも多くの跆拳道の選手が参加した。背部 にする 備向がある。技法を蹴り技に限定する がゆえに蹴り技の利を生かすには比較的遠 がゆえに蹴り技の利を生かすには比較的遠 がゆえに蹴り技の利を生かすには比較的遠 がは、パワー)速(スピード)は避け られない。一九七〇年前後、台湾の擂台賽 にも多くの跆拳道の選手が参加した。背部 でも多くの跆拳道ができず敗れ去った。

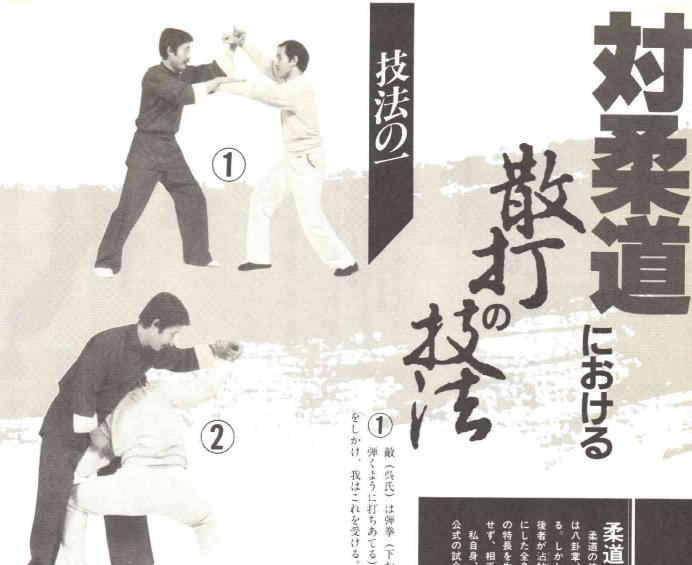


跆拳道との対戦法

遠い間合いより蹴り込む腿法は力強く加速性がある。消極的な防禦法(受け)では はりに捲き込まれたり、体勢を崩されたり と高い蹴りなどは費やされる距離(空間)が と高い蹴りなどは費やされる距離(空間)が る。このような相手とは以攻制攻の傾向があ る。このような相手とは以攻制攻の順向があ る。このような相手とは以攻制攻の順向があ る。このような相手とは以攻制攻の順向があ る。このような相手とは以攻制攻の順向があ る。このような相手とは以攻制攻の順向があ る。このような相手とは以攻制攻の順向があ る。このような相手とは以攻制攻の順向があ る。このような相手とは以攻制攻の戦法が 有効である。蹴り攻撃には積極的な攔截を 中心線を制し接近戦に持ち込み弱点(片足 中心線を制し接近戦に持ち込み弱点(片足 中心線を制し接近戦に持ち込み弱点(片足 中心線を制し接近戦に持ち込み弱点(片足 中心線を制し接近戦に持ち込み弱点(片足







せず、相手の動きを封じていくことである。 の特長を生かすため、我は体を沈め、硬く にした全身での攻防を行うことである。こ 後者が沾黏連隨、聴勁、化勁の技法をもと 公式の試合で最も強敵だったのは呉清巌五 は八卦掌、形意拳などの内家拳も同様であ る。しかし、柔道と内家拳の大きな違いは、 私自身、柔道との対戦は何度もあるが、 柔道の技は接近戦を根本とするが、これ

> 歳。初擂台の決勝で対戦したのである。 油ののりきった年齢。対する私は当時十六 オリンピックの代表選手。三十四歳という 鬼才〟と呼ばれ、台湾では敵なしであり、 段との対戦である。呉氏は〝台湾柔道界の

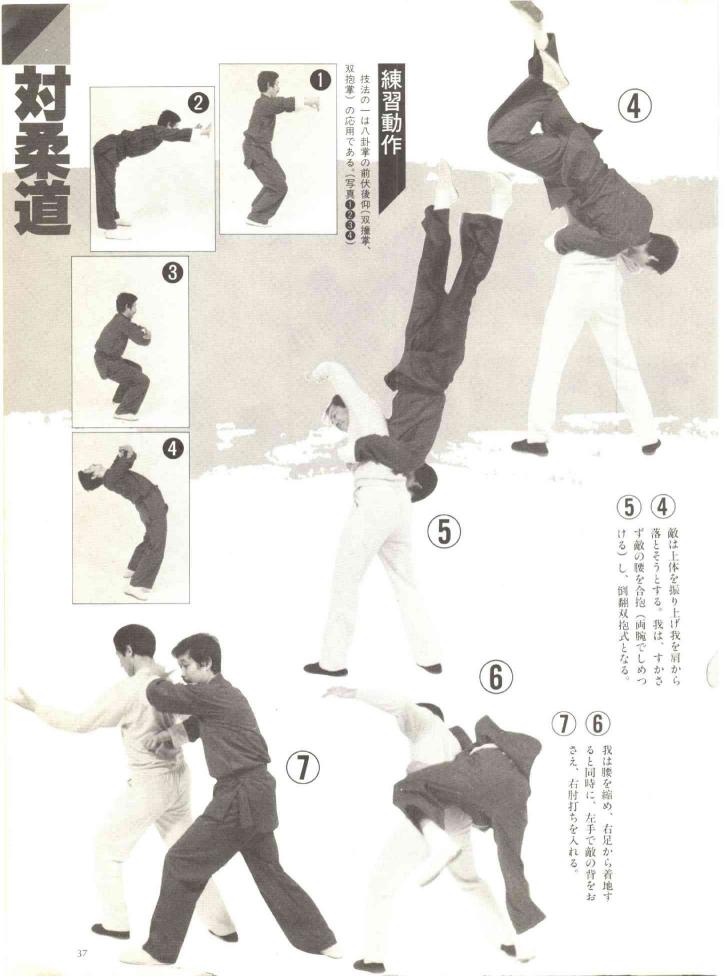
の技を防いだ。 て見守る中、私は以下のような方法で呉氏 子供の私が殺されるのではないかと心配し 強く痛め、退場していった。観衆の全てが、 かさ落としであり、全ての対戦者が頸部を 呉氏の得意技は腰投げと、肩車からのさ

弾くように打ちあてる)で攻撃 敵(呉氏)は弾拳(下から上に 2

盤にさし入れ、肩にかつぎ上げ かみ引き、素早く左手を我の下

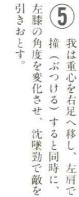
敵は右手で我の受けた左手をつ

3



- 引きくずすと同時に、右手で我敵(呉氏)は左手で我の左手を の後頭部をねらい打ちしてくる ので、我は右手でこれを受ける。
 - 3
- けて投げようとする。

敵は左手で我の右手を引きおと け、さらに右足を我の内又にか し、右手で我の後頭部をまきつ 5



である。(写真●284) 2 技法の二は、形意拳の燕子抄水の応用



4









